

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 257

2017年

7～8月号

## 行 事 案 内

### 7月手賀沼探鳥会

期 日 7月9日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前8時  
案 内 今月からサマータイムで行われます。コスは、ヒドリ橋 第2機場になります。  
鳥の少ない時期ですが、オオヨシキリ、サシバなどが見られるでしょう。また、コブハクチョウ、カイツブリの親子が見られることを期待しましょう。  
浅間橋のヨシゴイは、下見の結果によります。  
暑さ対策をお忘れなく。  
解 散 午前11時頃  
担 当 船津

### 7月、8月手賀沼定点カウント

期 日 7月4日(火) 雨天延期  
8月1日(火) 雨天延期  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
解 散 正午予定  
担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮  
連絡先 桑森亮  
Tel: 04-7182-3149

### 8月手賀沼探鳥会

期 日 8月13日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前8時  
(サマータイムになります)  
案 内 夏の真っ盛りで、手賀沼の水鳥や夏鳥も子育てを終え、幼鳥が見られる頃です。幼鳥の鳴き声にも注意し、子育ての行動をじっくり観察したり、成鳥と幼鳥の違いの識別にも挑戦してみましょ。また、シギチの渡りが待ち遠しくなる時期になってきます。渡りの思わぬ鳥に出会えるかも知れません。暑さ対策と水分補給も忘れずに。  
解 散 午前11時頃  
担 当 桑森

### 7月、8月ピオトープ調査

期 日 7月6日(木) 雨天延期  
8月3日(木) 雨天延期  
集 合 手賀沼ピオトープ 午前8時30分  
(7-8月は通常より1時間早く行きます)  
案 内 7-8月はピオトープ、沼岸が葦などの抽水植物、葛などの蔓性植物に覆われ、小鳥は見えにくくなりますが、葦の中で囀るオオヨシキリ、上空を飛ぶツバメが見られます。野鳥は昨年7月10種、8月19種観察しました。ピオトープ周辺の木の花はノ

リウツギ、ムクゲが、野草の花はネジバナ、ノカンゾウ、ヒメガマ、マツヨイグサ、ツユクサ等が咲き、その間をギンイチモンジセセリ、ゴマダラチョウなどの蝶が、その上をウチワヤンマ、コフキトンボ、ナツアカネ、チョウトンボの蜻蛉が飛び、ニイニイゼミ、アブラゼミが鳴き始めます。周りの動植物を観察しながら夏の探鳥をしてみましょう。参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解散 午前 10 時 30 分  
担当 鈴木静治  
Tel: 080-3121-4757

---

---

### 三 番 瀬 探 鳥 会

---

---

期 日 9 月 3 日 ( 日 ) 雨天中止  
集 合 我孫子駅改札口 8:10 又は  
ふなばし三番瀬海浜公園バス停 9:45  
交 通 我孫子駅 (代々木上原行き) 8:19  
発 ~ 柏駅 8:24 着、  
東武線柏駅 (船橋行き) 8:31 発 ~ 東武  
線船橋駅 9:01 着、  
徒歩で京成船橋駅南口前 3 番バス停  
へ、船橋海浜公園行きバス 9:20 発 ~  
終点下車 9:40 着  
案 内 二度目の千葉県野鳥の会との交流  
探鳥会です。  
三番瀬は日本一のミヤコドリ渡来地  
です。秋の渡りの時期でオオソリハシ  
シギ、チュウシャクシギ、メダイチド  
リなど多くのシギ、チドリ類が観察で  
きます。今回はキリアイも近くに出  
てくれました。コアジサシ、アジサシも  
期待できます。  
子供さん向けの「プランクトンの観  
察」も行う予定です。  
持 物 観察用具、弁当、飲み物、ぬれても  
よい靴 (長靴)、雨具  
申 込 野口隆也まで (集合場所と携帯電話  
番号をお知らせ下さい)  
Tel: 04-7163-7898

担当 相良、野口 (隆)

---

---

### 映 写 会 及 び 懇 親 会

---

---

本年度も下記の如く当会恒例の映写会と懇親会を開催します。

会員より応募いただいた写真、動画、スライド・ショー等の素晴らしい作品の数々を皆様と一緒に楽しみ、引き続き場所を変え食事をしながら映写会の批評や探鳥会の思い出話などを語りながら親睦を深めたいと思います。皆様奮ってご参加ください。

< 映写会 >

日 時 7 月 23 日 ( 日 ) 9:00 ~ 13:00  
場 所 水の館 3 階研修室  
内 容 会員の写真、動画やスライド・ショーなどの作品を映写して楽しみます。

(鑑賞のみの参加も大歓迎です。その場合も必ず事前に申し込みください)

< 懇親会 >

日 時 7 月 23 日 ( 日 ) 13:30 ~ 15:30  
場 所 我孫子市若松 94 - 2  
どん亭 手賀沼店  
Tel: 04-7188-8671  
映写会場にほど近い場所です。

会 費 2,100 円

申込 / 問合せ先 相良直己 7 月 17 日まで  
Tel: 04-7191-3108

E-mail:

ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp

\* 映写会のみ懇親会のみ希望の方はその旨を明記ください。

担 当 映写会 相良直己・石渡成紀  
懇親会 小林美智子・小林寿美子・  
野口紀子・石井俊子・古出洋子

---

---

### 第 25 回 野 鳥 サ ロ ン

---

---

第 25 回野鳥サロンを下記により行います。皆さまのご参加をお待ちしています。

日 時 7 月 13 日 ( 木 ) 10:00 ~ 11:30  
場 所 水の館 研修室  
テーマ

「全国鳥類繁殖分布調査について - 現状と調査体験から - 」  
「ツバメのくらし」

会費 一人 300 円 (茶菓子代ほか)  
締切日 7月8日(土)  
申込 石渡成紀まで  
Tel: 04-7139-6545  
担当 石井(俊)、石渡、桑森

ホタルスポットになっています。是非、身近なホタルの棲息場所を訪れてみましょう。なお、解散は東我孫子駅前となります。

申込 不要  
担当 木村、桑森

---

---

### ホタルの夕べ

---

---

期日 8月6日(日) 雨天中止  
集合 東我孫子駅前 午後7時  
持参 懐中電灯、虫除け対策  
解散 午後8時を目安  
案内 毎年恒例の当会と鳥の博物館友の会との共催による岡発戸谷津でのホタル鑑賞会です。岡発戸・都部谷津の整備が進み、近年はホタルの観察数が増え、昨年は347頭を記録し、過去最高となりました。参加者も40名を超え、我孫子では人気の

### 7月役員会案内

日時 7月9日(日) 13:15~16:00  
場所 水の館 3F 研修室  
議題 幹事の補充選任について  
JBF2017 出展について  
会報 258号掲載予定記事について  
29年度第1四半期会計報告  
第26回野鳥サロンについて  
報告事項  
・新入会員オリエンテーション  
・対外活動状況 他  
その他(議題のある場合は桑森までご連絡ください。)

---

---

## 行事報告

---

---

---

---

### 4月手賀沼探鳥会

---

---

日時 2017.4.9 9:00~10:30  
雨 一時小雨 ほとんど風無し  
14 前後

前日からの雨が上がりぬまま集合時間を迎えました。それでも雨の中、新入会員の方2名を含めた10名の参加者が集まり、気分はすっかり探鳥モード。とりあえず車の中から観るだけでも...と、いつも通りのコースに向かいました。

北千葉導水センターに着いてすぐ95号鉄塔にハヤブサを確認。手賀沼には北帰行間近であろうコガモ、カンムリカイツブリ、アオジ、オオジュリン、ツグミもまだ観ることができました。留鳥は繁殖シーズン到来で、ヒ

バリヤカワラヒワは賑やかにさえずり、カルガモは人目もはばからず水音をたてて交尾行動!雨の中でも、鳥はたくましく暮らしている姿が見られました。

雨がひどくなったので撤収を決めたところにツバメが飛んできて、最後を夏鳥でしめることができました。

結局、北千葉導水センターとヒドリ橋を車で回っただけでしたが、29種の鳥を観ることができたのは皆さんの熱意のおかげだなぁと感じた定例探鳥会でした。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、カワセミ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、

ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、セツカ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオジ、オオジュリン  
番外 カワラバト

<参加者> 間野吉幸、高波宣子、植田禮子、野口隆也、村瀬和則、桑森亮、野口紀子、船津登、相良直己(担当)村井みとい 計 10名

#### 4月手賀沼定点カウント

調査日時 2017.4.4 9:00~ 12:30

快晴 微風 11 ~ 14

今月から水位が上げられほとんどの干潟が水没。カモ類の北帰行もあり前月と比べカウント数は半減し、猛禽類も全く確認できず。コブハクチョウの抱卵が確認できた他、上沼・下沼の南岸でそれぞれ2か所ヒクイナの特徴的な鳴き声が聞かれた。(北岸でも何カ所か確認されているようで、手賀沼周辺に生息するヒクイナは想像以上に多い模様)

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	14	18	32
オカモ	2	0	2
ヒドリガモ	0	4	4
カルガモ	34	19	53
コガモ	128	26	154
ホシヅメ	0	1	1
カイツブリ	30	9	39
カムリカイツブリ	10	8	18
ハシロカイツブリ	0	1	1
カワウ	13	65	78
アオサギ	7	1	8
ダイサギ	4	2	6
コサギ	1	2	3
ヒクイナ	2	2	4
バン	4	1	5
オオバン	29	21	50
ツグミ	0	1	1
ユリカモメ	31	0	31
セグロカモメ	2	4	6
合計	311	185	496

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸

#### 4月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2017.4.6 9:30~ 11:30

晴れ、強風、20

手賀沼河畔に桜、レンギョウ、日向水木、斜面林下の民家の庭に花桃が咲き、春らしい情景ですが、強風のため沼に白波が立ち、葦原、林中に小鳥がほとんど見られません。池には産卵の鯉、亀が、草原には蝶、テントウムシ、アマガエルが見られました。ツクシが見られ、カラスノエンドウ、ヒメオドリコソウ、アリアケスミレ、タンポポ等春の花が多く咲き始めました。田ではツグミが歩き、カワラヒワ、キジの鳴き声、ツバメ、トビが飛ぶ。ピオトープの池にはオオバン、カイツブリ、カルガモ、コガモが泳ぎ、コサギが獲物を狙う。コブハクチョウが島に巣を造り抱卵中。モズが樹の枝に、葦原にアオジが、オオタカが上空高く滑空し、上空高く飛ぶトビをハシボソガラスがモビングする光景が見られた。沼岸近くの葦の水辺にオオバン、バン、カイツブリ、カルガモが泳ぎ、カワウ、セグロカモメ、ユリカモメが飛ぶ。ヒクイナの鳴き声が聞こえる。観察した野鳥 23種 63羽、他に木の花 6種、花穂 2種、実 1種、野草の花 18種、花穂、実 3種、蝶 4種、甲虫 2種、小動物 4種を観察しました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ヒクイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、オオタカ、モズ、ハシボソガラス、ツバメ、ツグミ、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオジ 計 23種 63羽

<調査者> 鈴木静治、船津登、池田日出夫、千葉洋、蒲田知子、古出洋子

#### 5月手賀沼探鳥会

日時 2017.5.14 9:00~ 11:30

微風 17.5

定例探鳥会に代えて、バードウィーク手賀沼探鳥会を実施しました。手賀沼親水広場で開催された「Enjoy手賀沼！」イベントの一

環として、毎年、我孫子市鳥の博物館と当会との共催、山階鳥類研究所の後援により実施しているもので、一般市民を対象とした探鳥会です。

この日は曇り空で早朝は雨が残っていましたが、水の館リニューアル後の最初のイベントということもあり、多くの一般市民が訪れ参加者数は38名、当会会員37名、鳥の博物館館員(ガイド)2名、合計77名でした。

コースは、昨年同様に手賀沼遊歩道に沿って、1時間コース(2班)と2時間コース(3班)で探鳥を行いました。曇り空で気温がやや低いスタートでしたが、徐々に天気が回復し、1時間程すると日がさして暖くなり、探鳥には良い状況になりました。遊歩道の小鳥は多くなかったものの、種類は例年並み見られ、キジの鳴き声やオオヨシキリの囀りが良く聴かれ、水辺にはコブハクチョウとオオバンの親子の姿が見られたり、参加者の皆さんは雛の可愛さに目を瞠り、こんなに野鳥が見られるのかと驚かれ、大いに探鳥を楽しめました。

2コースとも当会のスタッフによるガイドと説明、鳥の博物館学芸員の専門的な説明にも熱心に耳を傾けて、市民の皆さんには手賀沼周辺の環境の素晴らしさ、探鳥の楽しさをご理解いただく絶好の機会になったのではと思います。

1時間コースでは親子連れを中心に14名(市内13名、市外1名)が参加し、認めた鳥は25種+番外1種の計26種、2時間コースでは24名(市内6名、市外18名)が参加し、認めた鳥は28種+番外2種の計30種、2コース合計では32種+番外2種でした。

最後に、鳥の博物館で鳥合せを行い、恒例の鳥ビンゴを確認、景品の写真カードのプレゼントに目を輝かせ、皆さんから楽しい探鳥会だったと所感を頂きました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、オオバン、タシギ、セグロカモメ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、オオヨシキリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計32種

番外 カワラバト、アヒル

<当会参加者>野口隆也、間野吉幸、野口紀子、弘實和昭、松田幸保、野倉元雄、相良直己、森本宜久、徳重玲子、船津登、坂元貴子、坂元孝行、染谷迪夫、田中功、千葉洋、池田日出男、類地佑子、石井俊子、小林美智子、小林博之、金子幸子、川越久枝、古出洋子、小林寿美子、小澤淳宏、菊地幸雄、菊地昌江、梶原裕美、内田佳穂子、松本勝英、小玉文夫、村瀬和則、肥後邦彦、高波宣子、青木典子、西城猛(担当)桑森亮 計37名

### 5月手賀沼定点カウント

調査日時 2017.5.2 9:00~12:15  
晴 微風 17 ~ 21

鳥たちも恋の季節から抱卵に移行したか沼面は静かでカルガモも田にいる方が多かった。コブハクチョウも何処かで抱卵中とみえて、姿が少なかった。そんな中、早くも6羽のヒナを連れだしたペアもいた。(下沼の16羽の内、6羽はヒナ。)

曙橋の近くで、キツタの実を食べる10羽程のコムクドリの群れが見られた。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	6	16	22
カルガモ	15	22	37
コガモ	83	12	18
カイツブリ	10	8	6
カンムリカイツブリ	1	1	2
カワウ	21	42	63
アオサギ	6	5	11
ダイサギ	2	2	4
オオバン	8	11	19
セグロカモメ	3	0	3
合計	155	119	274

<調査者>桑森亮、船津登、金子雅幸

### 5月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2017.5.4 9:30~ 11:55

晴 中位の風 23

風があるため沼は波立つ。水田は田植え中。斜面林は色々な新緑で綺麗。ピオトープは葦の新芽が伸び始める。冬鳥はコガモ、ユリカモメの少数が残る程度で、夏鳥はオオヨシキリ、ツバメが見られた。水田では水の入っていない田で採餌するスズメ、小魚を啜えたハシボソガラスが見られ、ツバメが飛ぶ。ピオトープの池にはコガモ、バンが泳ぎ、中島にコブハクチョウが巣で抱卵中、森の高木にハシボソガラスが巣で子育て中。アオサギ、カルガモ、カワウ、カワセミ、スズメ、コゲラが飛び、オオヨシキリ、カイツブリ、カワラヒワ、キジ、シジュウカラ、ホオジロ、モズの鳴き声が聞こえる。沼にはほとんど鳥は見られないが、岸近くの水辺でカイツブリが鳴き、カルガモが泳ぐ。低空をカワウ、コガモが飛び、上空をアオサギ、ユリカモメが飛ぶ。観察した野鳥は 20 種 80 羽。他に木の花 5 種、実 3 種、野草の花 26 種、花穂、実 11 種、蝶 8 種、蛾 1 種、トンボ 1 種、蜂 2 種、蚊 1 種、甲虫 7 種、バッタ 1 種、カメムシ 2 種、蜘蛛 1 種、鯉、亀、蛙 3 種も観察出来ました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、バン、ユリカモメ、カワセミ、コゲラ、モズ、シジュウカラ、ハシボソガラス、ツバメ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ 計 20 種 80 羽

<調査者> 鈴木静治、船津登、池田日出男、千葉洋

---

---

## 葛西臨海公園探鳥会

4月23日

---

---

### ~冬羽から夏羽に変身中の水鳥たち~

坂元貴子

前日の荒天から一夜明け、朝から青空が広がり気持ちの良い探鳥会日和になりました。干潮の朝のうちに干潟の鳥を見に行くことになり、途中ももしかしたらオオルリが見られるかもしれないと日本庭園に寄りましたが、残念なことにお留守

のようでした。

干潟では潮干狩りをする人達がいる、思ったより鳥が少なく、尚且つ遠くにいて双眼鏡しか持ってこなかった私はなかなか識別ができず、スコープを担いで来てくださった方に覗かせていただきました。本当にありがとうございました。次回から水鳥を見るときは重くてもスコープが必要だと実感しました。

今回クロツラヘラサギとホウロクシギを初めて見る事ができました。また、ホウロクシギとダイシャクシギの見分け方等を、お聞きする事ができました。季節的に、冬羽から夏羽に変化している途中の鳥が多く、特に水鳥は識別が難しいと思いました。ミヤコドリにいたっては別人(?)のようでした。

後半、鳥類園に向かう途中で人だかりに遭遇しました。なんと、一羽のアオバトが目の中の木の枝にとまってジッと羽を休めているところでした。疲れているのかたくさんの人に取り囲まれても逃げずにジッとして、時々顔を見せてくれました。鳥類園に着く頃には、歩き疲れ集中力が落ち、なかなか鳥を見つけることができず、体力の無さを痛感しました。それでもコチドリの可愛らしい目を見て元気をもらいました。

こんな広い公園をくまなく歩かれ、ポイントを探してくださった幹事の皆様、本当にお疲れ様でした。

### 【幹事報告】

行程 我孫子駅 8:02 8:15 新松戸 8:26

9:00 葛西臨海公園・・・14:30 現地解散

19名の会員が参加し、恒例の葛西臨海公園探鳥会が開催された。

干潮が 9:05 だったため、事前説明を早々に済ませ、西なぎさに向かう。

途中日本庭園に寄るも鳥影なし。風も雲もほとんどない絶好の行楽日和のせいか水鳥の大事な餌場である干潟では、既になりの家族連れが潮干狩りを楽しんでいる。岩礁に目を向けるとルアー釣りに興ずる釣り人の姿も。干潟に野鳥の姿は僅かしか無く、水面に約 300 羽のスズガモの群れが浮かんでいる。期待したシギチ類は、西なぎさのシロチドリ、メダイチドリに加え、遠

く東なぎさで休むホウロクシギとミヤコドリのみ。あざやかな夏羽のカムリカイツブリとクロツラヘラサギが認められたことを慰めとし、芦が池方面へ移動。途中大勢のバーダーが樹上にカメラを向けている。見上げると1羽のアオバトが盛んに木の実を啄んでいた。茂った枝が邪魔をしてなかなか全身を観察することはできなかったが、予想外の鳥との出会いに、参加者はしばし釘付けとなった。

展望レストハウス近くの広場で昼食を済ませ、鳥類園へ移動。淡水の上の池では、数は大幅に減ってはいたが北帰行前の多くのカモ類を見ることができた。途中、勢いよく飛翔するツバメに交じってイワツバメの姿を認める。しかし期待した汽水の下ノ池でも例年になくシギチ類の姿は少なく、コチドリとアオアシシギを認めたのみ。

全体としては、シギチが期待を下回ったものの、例年並みの48種を観察することができた。アオバトとの出会い、そして遠望できたクロツラヘラサギの姿を胸に、鳥合わせ後2時半に解散した。

なお昨年4月24日に開催された同地探鳥会では、今回の7種を若干上回る9種のシギチ類を観察し、全体としての鳥影は格段と濃かった。振り返ると前回は、午前中雨、午後回復という空模様だったことが行楽客の出足を挫き、それが幸いしたのだろうか？ちなみに昨年9月に行われた三番瀬探鳥会の際も雨の天気予報で、16種のシギチ類が認められている。

<認めた鳥> オカヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ウミアイサ、カイツブリ、カムリカイツブリ、キジバト、アオバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、バン、オオバン、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、アオアシシギ、イソシギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、コアジサシ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、メジロ、オオヨシキリ、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ 48種  
番外 カワラバト

<参加者> 間野吉幸、坂元貴子、松本勝英、野口紀子、石井俊子、松田幸保、石渡成紀、弘實和明、田中功、菊地幸雄、菊地昌江、船津登、清水直樹、渡辺俊文、古賀嗣郎、吉田隆行、浅野利幸(幹事)相良直己、千葉洋 計19名

---

## 筑波山・雨引山探鳥会

4月30日

---

### ~新緑の山、探鳥は難しい~

佐和橋みどり

この日 晴天に恵まれ風も涼やかな探鳥会となりました。我孫子駅7時に集合して17名、4台に分乗して筑波山に行きました。深峰遊歩道は両脇に新緑の林の連なる歩きやすい道でした。あちらこちらから鳥の声が聞こえます。その度に何の鳥だろう？どこで鳴いているのだろうか？と皆で話したり探したり探鳥会でした。

山頂の御幸ヶ原には店もあり、多くの人が山を楽しんでいました。そこから自然研究路に入り、ニリンソウの群生辺りまで進むとソウシチョウやコゲラのドラム打ちの姿を確認しました。この時期は山の新緑におおわれ鳥の姿を見ることは大変難しいということを知りました。それでも軽登山も楽しみカタクリの花や山スミレなど花々を観ることもでき楽しいものになりました。

その後、雨引観音へ移動、昼食をとり境内を散策すると、キジ、クジャク、アヒル、ニワトリ、ハトなどが飼われており鳥好きには楽しいお寺でした。探鳥会の皆様と楽しく有意義な一日を過ごせたこと感謝です。

### 【幹事報告】

春恒例の筑波山探鳥会ですが、今回は筑波山の他に雨引観音にも立ち寄る初めての試みでした。前夜の雨も上がり、気温23度と絶好の探鳥日和です。参加者17名が4台の車に分乗して、予定時刻にユースホテル跡地の駐車場に到着。登山道を登り始めると、鳥の声を楽しむ探鳥会といわれる通り、にぎやかな囁りがよく聞こえます。御幸ヶ原は連休2日目ということで、登山者でにぎわっていました。

自然観察路は一部崩落のため、その一部を探鳥することになりました。この辺りはニリンソウが満開で、カタクリもまだ咲き残っていますが、心無い人に盗掘された跡が痛々しく残っています。幸いヤブサメ、センダイムシクイ、クロツグミ、キビタキ、オオルリ、イカルなど期待された夏鳥も確認することが出来ました。12時頃下山し、雨引観音で昼食をとり、あたりを1時間ほど探鳥しました。延命水が湧き出るあたりはいかにもサンコウチョウがでそうな雰囲気がありますが、時期的に少し早いのでしょう。雨引山中腹にある雨引観音から眺める裏筑波の田園景観はその新緑とともに素晴らしいものでした。健脚揃いでトラブルもなく無事探鳥会を終え午後2時に帰路につきました。

<認めた鳥> キジバト、トビ、コゲラ、アカゲラ、アオゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、エナガ、センダイムシクイ、メジロ、ムクドリ、クロツグミ、キビタキ、オオルリ、スズメ、ハクセキレイ、ビンズイ、カワラヒワ、シメ、イカル、ホオジロ 計29種  
番外 ソウシチョウ、ニワトリ、アヒル、クジャク

<参加者> 古賀嗣朗、小玉文夫、野口紀子、中根文世、間野吉幸、森本宜久、鈴木裕爾、佐和橋みどり、北原建郎、金子雅幸、渡邊俊文、古出洋子、松本勝英、吉田隆行、石井俊子(幹事) 桑森亮、小澤淳宏 計17名

---

## 富士山北麓探鳥会

5月20日、21日

---

~まだ見ぬ鳥たちが続々と出現~

松村洋子

13年前に我孫子に居を構え驚いたことは、鳥の博物館が在るということでした。更に鳥に関するサークルがたくさんあり、これは、ただ鳥を眺めて楽しむと言うだけの私にとって、大きな喜びに繋がって行きました。

好天に恵まれた今回の探鳥会もどんな鳥との出会いがあるのかわくわく感いっぱいです。バスの中では鳴き声クイズがありました

たが、鳥の名前すら知らない私には聴き分けるといことは難しかったです。分かったなら探鳥の楽しみも増していくのに.....。

会長の間野さんによると、鳥のさえずりは早朝か、午後3時過ぎに多く聞けて、お昼はブレイクタイムだそうです。

創造の森は標高1100メートルだそうです涼しい林の中を散策し、私たちは道に沿って横一列に座りお弁当を食べました

池で水浴びをしたコゲラが木の上で羽づくろいをしていました。

野鳥を守る会の方々には鳥の情報だけでなく植物への造詣も深く、山野草の名を良くご存じでした。林の中に白い花を開いた山芍薬の凜としたたたずまいが美しかった。

午後は宿泊するプレミアムリゾートホテルに荷物を置き、周辺を散策し、心地よい薫風に吹かれました。テニスコートの上空ではトビが飛び、カワラヒワ、キセキレイを確認しました。ヒガラ2羽も飛び交っていました。

盛りだくさんのごちそうの夕食の後には二次会、その後の女子会では、「洋子さん」が3人同室に集まったことが判明。当然名前にまつわる話が広がって、家族制度、鉄砲隊ごっこ、日露戦争にまで及びました。

子供のころ、私はこんな数え唄に合わせてお手玉をしていたのを思い出しました。

- 一、 一列談判(いちれつらんぱん)破裂して
- 二、 日露戦争はじまった
- 三、 さっさと逃げるはロシアの兵
- 四、 五、六、七、八、
- .....
- 九、 クロバタキンの首を取り
- 十、 東郷大将万々歳

最後の十のところではお手玉を高くあげるので。そうしたらもう一人の洋さんが「私もやってみました、知ってるわ.....」と。私たちは日露戦争のことは知りません。しかし親たちはロシアに勝ったということが誉だったのですね。

そういう数え唄が太平洋戦争が終わった後にも子供たちに伝えられていたのです。そんな気風を持つ親に育てられていたんですね、私たち。

二日目は朝 5 時半にバスに集合し、梨ヶ原北富士練習場に向かいました。

日本野鳥の会富士山麓支部の方がガイドについて下さり、効率的に多くの探鳥をすることができました。

ここでオオジシギが遠くの枝に止まっているのを見ることが出来ました。皆さんのざわめきで、かなり貴重な鳥らしいということが予想されました。ここでも自分では小さな姿しか撮れません。アップで表情さえもわかる写真を撮られた方を見せて頂きました。

以前手賀沼のボート乗り場でイソシギを見たことがあり、シギ類は水辺で生活するものと思っておりましたが、草原の木の下でっぴんでシギを確認し、カメラに収められたことは私のビッグニュースとなりました。

家に帰り図鑑で調べると、その数は 30 ページにわたっており、数の多さにも驚かされました。

カッコウも姿を現してくれました。カッコウの托卵の習性を野鳥の会の方から教えて頂きました。そんなことも調べてみると、卵を託す巣の親鳥に気づかれないように卵の数を揃えるなど知恵を使うところなど、鳥の世界もなかなか油断ができないものですね。

アオジは我が家の庭に出るので分かりませんが、ホオアカ、ホオジロ、イカル等まだ見ぬ鳥が次々に出現したのですが、写そうとする間もなく飛び立たれ、なかなか自分のカメラに収めることは出来ませんでした。上手に撮られた方の画像を写させていただき、「見ました」の証拠としました。

「今度こそ！」の意気込みはあるのですが…

最後に富士散策公園のオオルリが出る場所に行きましたが残念ながら出会えませんでした。青い色の羽をもつ鳥は憧れ。

いつの日か青い鳥の出会いを期待して、探鳥会に参加したいと思います。

#### 【幹事報告】

今回、新しい試みとして富士山北麓探鳥会を実施しました。

2 日間とも天候に恵まれ、常に富士山を仰ぎ見ることができました。

初日は「創造の森」と「ホテル周辺」の探鳥、二日目は「北富士演習場」と「富士散策公園」

の探鳥でした。

特にメインの梨ヶ原にある「北富士演習場」は日本野鳥の会富士山麓支部の水越さんのご案内でオオジシギをじっくりと長時間観察することができました。

カッコウ、ホオアカ、ノビタキなども身近で観察でき、感謝の気持ちで一杯です。

加えて富士山を電線なしで裾野までくまなく見られたことも幸せでした。

< 認めた鳥 > キジ、ダイサギ、ツツドリ、カッコウ、オオジシギ、トビ、コゲラ、アカゲラ、アオゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、センダイムシクイ、メジロ、ムクドリ、コルリ、ノビタキ、キビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ホオアカ、アオジ 計 35 種

< 参加者 > 畠中暁美、古賀道子、坂元貴子、鈴木幸子、松村洋子、古出洋子、青木典子、野口洋子、仲澤成二、中根忠、古賀嗣朗、多葉田五男、木村稔、鈴木裕爾、弘實和昭、相良直己(幹事)間野吉幸、野口隆也 計 18 名

---

## 第 24 回 野鳥サロン実施報告

---

第 24 回野鳥サロンは、相良直己さんが企画立案した「シギとチドリの渡り」をテーマに、二人の講師の方をお招きして野鳥サロン・スペシャルとして 5 月 27 日に開催しました。会場は水の館の 3 階研修室。参加者は 30 名。

シギやチドリの仲間は、春に越冬地のオーストラリア、ニュージーランド、東南アジアなどから繁殖地の北に向けて飛び立ち、中継地として日本の干潟や田に降りてしばしの休養を取ります。その後さらにシベリアやアラスカまで飛行を続け、そこで繁殖します。子育てが終わる秋には越冬地を目指して南下、中継地として再び手賀沼などに立ち寄るのです。オオソリハシシギのように繁殖地のアラスカから越冬地のオーストラリアやニュージーランドまで 13,000k m を無着陸で

飛行を続ける鳥もいます。シギチの渡りは実に壮大で、地球が育む生命の偉大さを感じさせずにはおきません。今年生まれたばかりの幼鳥でも次の年同じ時期に同じ場所に迷子にもならずに来てきます。このシギチの不思議を少しは調べてみようというのが今回の野鳥サロンの目的でした。

最初に話していただいたのは、谷津干潟自然観察センター副所長の芝原達也さん。シギチの越冬地であるオーストラリア各所の団体や施設と交流を重ねておられ、現地調査にも行かれています。シギチ生息地ネットワーク交流会やバードリサーチの水鳥イベントなどで講演などもされており、ラムサール条約に基づいた活動を通して現地団体との交流も重ねています。

野鳥調査の話では、ハマシギが7割も減少したことや、シロチドリが世界的に減少していることなどの報告をいただきました。さらに、谷津干潟の浄化とアオサの駆除の苦労話もしていただき、改めて生態系の維持活動を続ける必要性が確認できました。

続いて、行徳野鳥観察舎の佐藤達夫さんに話をいただきました。佐藤さんは、日本に飛来するシギチの主たる繁殖地であるロシアのレナ川河口湿地に行かれています。レナ川

はバイカル湖付近から北極海まで流れ、広大な氾濫域を持つ世界で10番目に長い川で、周囲に大規模な都市が少なく貴重な自然が残っている地域です。そのレナデルタに、ヨーロッパ、アフリカ、アジアと異なった地域からコクガンやアジサシ、カモメやシギチなどが、それぞれのフライウェイを飛行して子育てに集まって来ます。そして、またそれぞれの地域へ帰って行くのです。佐藤さんの楽しい話に乗せられ、私たちに馴染のある鳥や、初めて見る鳥たちの子育ての映像を見せてもらい、笑いの絶えない講義となりました。

佐藤さんは、常日頃は行徳や九十九里で野鳥観察、野鳥保護、自然環境保護に携わっています。ケガをした野鳥の面倒も見ている、回復させては自然に返す仕事もしています。話を聞くたびに、野鳥に対する並々ならぬ思いが伝わってきました。

手賀沼周辺に、コチドリ、チュウシャクシギ、ムナグロなど多くのチシギが毎年同じ時期に同じ場所にやってきます。今日の話を通じて、これからもシギチの観察を進めようと、参加者全員が心を新たにさせられたサロンとなったようです。大成功でした。

(弘實和昭 記)

## 平成29年度定期総会報告

日時 4月9日(日) 13:30~14:45

場所 我孫子北近隣センター並木本館

会議室 2、3

出席者数 25名

議案 1号議案 平成28年度事業報告(案)

2号議案 平成28年度決算(案)、  
会計監査報告

3号議案 平成29年度事業計画(案)

4号議案 平成29年度予算(案)

5号議案 役員改選(案)

議事

開会宣言、会長挨拶、議長選出の後、各議

案について報告・提案され、質疑応答を経て、審議の結果、全て提案通り承認・決議されました。

役員改選のうち会長・副会長については、間野会長と古出副会長は再任され、野口副会長は退任、その後任に船津登氏が選任されました。会計監査については、六角氏と類地氏が再任されました。

なお、平成29年度事業計画の概要と平成28年度決算および平成29年度予算は次の通りです。

【事業計画の概要】

1. 探鳥会の実施

(1) 定例手賀沼探鳥会(毎月第2日曜日)

(2) 遠出探鳥会(宿泊探鳥会4~5回、日

- 帰り探鳥会 9~10 回程度)
- (3) 第 28 回バードウィーク手賀沼探鳥会
- (4) 市民手賀沼探鳥会(我孫子市環境レンジャーとの共催)
- (5) 手賀沼親子ふれあい探鳥会(手賀沼流域フォーラム地域企画の一環)
- 2. 野鳥等の調査及び保護
- (1) 手賀沼水鳥の定点カウント調査(毎月 1 回)
- (2) 手賀沼ビオトープの鳥類等調査(毎月 1 回)
- (3) 会の活動記録のデータベースの整備・構築
- (4) 傷病鳥の保護等
- 3. 環境保全活動
- (1) 手賀沼クリーン運動に参加
- (2) 美しい手賀沼を愛する市民の連合会の活動に参加
- (3) 岡発戸・都部谷津のホタル観察会(ホタルの夕べ)を実施
- 4. 広報啓発活動
- (1) 広報活動  
会報の発行、配付  
対外広報
- (2) 啓発活動  
探鳥会の指導  
対外発表等  
その他の活動
- 5. 創立 50 年に向けて「次の一步の取組み」
- (1) 新たな観点からの探鳥会の検討、実施
- (2) 会員を増やす活動の推進
- (3) 各種行事への一般会員の積極的な参画による活気のある活動、事業運営
- (4) 既存活動の深化と他団体等との交流の推進  
ホームページ運営の新たな展開方策の検討  
会報の内容充実をめざした「会報改善検討委員会」による検討

手賀沼周辺の生態等を含めた野鳥情報の投稿・データベースの試運用等

6. その他

- (1) メーリングリストの運用、有効活用
- (2) 新入会員向けオリエンテーションの開催
- (3) 会員向け「野鳥サロン」の開催
- (4) 会員撮影の野鳥等の写真・ビデオ・スライドショー映写会の開催
- (5) 会員の親睦行事の企画、実施(懇親会、芋煮会)
- (6) 定期総会、役員会、事務局会議の定例的開催
- (7) 行政機関等の委員会等への積極的な参加

【決算と予算】

(単位：円)

項目	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算
収入の部		
会費	316,000	300,000
会行事収入	1,556,600	1,500,000
その他の収入	98,171	
前年度繰越金	806,406	815,922
合計	2,777,177	2,615,922
支出の部		
野鳥の部	1,548,121	1,540,000
環境保全の部	0	2,000
啓発活動の部	235,518	261,000
庶務の部	77,616	114,000
その他の費用	0	150,000
別途積立金	100,000	100,000
時期繰越金	815,922	448,922
合計	2,777,177	2,615,922

## 5月役員会報告

日 時 5月14日(日) 13:15~17:00 場 所 北近隣センターつくし野館 会議室 1,2  
議 事 平成29年度下期行事計画について

事務局からの提案を検討し、次の通り決定しました。

年/月	実施日(曜日)	行 事 内 容	担 当
29/10	3(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	5(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	8(日)	am 手賀沼定例探鳥会、pm 事務局会議	am 松本
	22(日)	手賀沼流域フォーラム	
29/11	2(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	4(土), 5(日)	ジャパンボードフェスティバル	幹事全員
	7(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	12(日)	am 手賀沼定例探鳥会、pm 役員会	am 小林(寿)、村井
	23(木・祝)	芋煮会	幹事全員
	25(土), 26(日)	あびこ市民活動メッセ	
	未定	第27回野鳥サロン	小林(美), 田中, 千葉
29/12	2(土)	親子ふれあい探鳥会	野口(隆)他7名
	3(日)	統一クリーンデー、ふれあい清掃	小澤、野倉
	5(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	7(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	7(木)	長寿大学探鳥指導	金子他3名
	10(日)	am 手賀沼定例探鳥会、pm 事務局会議	am 小澤
	17(日)	渡良瀬遊水地探鳥会	野口(隆)、石渡
30/01	4(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	5(金)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	7(日)	[環境パートナーシップ千葉] 手賀沼遊歩道探鳥会	間野他5名
	8(月・祝)	江戸崎・神之池・小見川探鳥会	小澤、松田
	14(日)	am 手賀沼定例探鳥会、pm 役員会	am 船津
	21(日)	印旛沼・別所探鳥会	古出、石井、鈴木
	28(日)	市民手賀沼船上探鳥会	間野他3名
	未定	第28回野鳥サロン	野口(紀), 野倉, 船津
30/02	1(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	3(土)	井頭公園探鳥会	小林(寿), 松本, 村井
	4(日)	亀成川を愛する会探鳥指導	間野他6名
	6(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	11(日)	am 手賀沼定例探鳥会、pm 事務局会議	am 桑森
	18(日)	涸沼・大洗探鳥会	船津、金子
30/03	1(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	4(日)	行徳・江戸川探鳥会	相良、弘實
	6(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	11(日)	am 手賀沼定例探鳥会、pm 役員会	am 松田
	18(日)	波崎・銚子探鳥会	桑森、千葉
	未定	第29回野鳥サロン	松田、松本、間野

## 鳥 だ よ り

カモやカモメなどの冬鳥が去って、南から来た夏鳥と留鳥たちは子育て真っ最中です。家の周りではツバメやシジュウカラ、ウグイスなどの子育てが見られました。この時期の手賀沼水辺では、コブハクチョウやオオバン親子連れが現れて、散歩する人の目を楽しませています。

手賀沼周辺では見ることが稀なツバメチドリが現れました。短期間ですが観察された方も多いようです。ヒクイナは本来夏鳥ですが、手賀沼で越冬している個体もいるようで、春先でも見たという報告が来ていました。

夏鳥の初認は4月16日のコムクドリ、4月30日にサンコウチョウが初認されたのは非常に早い時期と言えます。一方冬鳥では5月9日にコハクチョウが最後の確認となりましたが、ずいぶん遅くまで居たことになります。

ホトトギスやカッコウの初認も届きました。これから暑い季節となり、探鳥も少し静かになりそうです。

- |   |   |
|---|---|
| <p>3.23[北柏ふるさと公園]ハコソコ(3)<br/>樹木の新芽を食べていた 吉田隆行</p> <p>3.25[呼塚新田北柏ふるさと公園]ハコソコ(2)<br/>若鳥が水面を移動 飯泉仁・飯泉久美子</p> <p>3.25[柏市]ツバメ(1)林縁から鳴き声 飯泉仁</p> <p>3.26[下沼田]コブハクチョウ(1)<br/>農道の電線に止まる 鈴木静治</p> <p>3.26[手賀新田]ヒクイナ(2)<br/>川の上空を滑空する 鈴木静治</p> <p>3.28[大井新田地先上沼]コブハクチョウ(1)<br/>干潟で採餌 吉田隆行</p> <p>3.28[大津川]カモ(2)<br/>木に止まっていた。 吉田隆行</p> <p>3.29[江蔵地]ツバメ(1)<br/>川の上空高く飛ぶ 鈴木静治</p> <p>3.29[江蔵地]ツバメ(2)<br/>柳の木より飛び立つ 鈴木静治</p> <p>3.30[下沼田]ツバメ(1)<br/>田の上を飛ぶ 鈴木静治</p> <p>3.30[下沼田]カモ(4)<br/>田の上を飛ぶ 鈴木静治</p> <p>3.30[手賀新田]カモ(1)<br/>河原の葦に止まる 鈴木静治</p> <p>3.30[千間橋]カモ(1)<br/>小川の岸の葦より飛び立つ 鈴木静治</p> <p>3.30[大井新田地先上沼]カモ(1)<br/>杭に止まっていた 吉田隆行</p> <p>3.31[下沼田]ヒクイナ(1)<br/>小川の水面の近くを飛ぶ 鈴木静治</p> <p>3.31[千間橋]カモ(3)<br/>川の岸近くを泳ぐ 鈴木静治</p> | <p>3.31[布佐平和台]カモ(1)<br/>宅地の庭に飛来 鈴木静治</p> <p>3.31[布瀬]ハコソコ(1)<br/>川中を中州に向け泳ぐ 鈴木静治</p> <p>3.31[布瀬]カモ(2)<br/>河原の葦の茂みを動く 鈴木静治</p> <p>4.01[高野山新田]ツバメ(1)<br/>葦原の中を歩いて移動 飯泉仁・飯泉久美子</p> <p>4.01[布佐平和台]ツバメ(2)<br/>調整池の水溜りを走る 鈴木静治</p> <p>4.01[北柏ふるさと公園]ツバメ(1)<br/>葦原で移動 吉田隆行</p> <p>4.02[高野山新田地先]ツバメ(4)<br/>1ヶ所で2羽が鳴き交わし、2ヶ所で<br/>鳴き声 桑森亮</p> <p>4.02[北新田]ツバメ(2)<br/>鳴き声を頼りに探し、水田にいた 畠中暁美</p> <p>4.03[高野山新田]ツバメ(1)樹上で鳴く 桑森亮</p> <p>4.03[高野山新田地先]ツバメ(1)<br/>葦中を動く 桑森亮</p> <p>4.03[高野山新田地先]ツバメ(3)<br/>1ヶ所で2羽が鳴き、移動し、1ヶ所では<br/>鳴き声 桑森亮</p> <p>4.03[高野山新田地先]ツバメ(1)<br/>葦湿地で採餌 桑森亮</p> <p>4.03[中峠]ツバメ(1)<br/>尻上がりの鳴き声！1羽が目前、低空を横<br/>切って左方向の林に入った 松本勝英</p> |
|---|---|

- 4.03[中峠]アトリ(50)  
アトリが 20+30 羽の 2 グループが合流して採餌 松本勝英
- 4.03[ヒドリ橋(湾処)]材カ(1)  
上空を旋回、次第に小さくなった。 吉田隆行
- 4.04[相島]ホドリ(2)  
畑に中を鳴きながら走る 鈴木静治
- 4.04[布瀬新田]セッカ(1)  
葦の茎に止まり囀る 鈴木静治
- 4.04[高野山]ヤマガラ(1)囀り 平岡考
- 4.04[手賀沼]ホシヅメ(1)下沼 1  
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 4.04[手賀沼]ホシヅメ(1)下沼 1  
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 4.04[手賀沼]ホシヅメ(1)下沼 2  
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 4.04[手賀沼]ホシヅメ(1)下沼 1  
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 4.04[手賀沼]ホシヅメ(1)下沼 1  
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 4.05[古戸]ノリ(2)  
葎原の上を飛ぶ、鳴く 鈴木静治
- 4.05[古戸]ヒ(1)  
河原上空を飛ぶ 鈴木静治
- 4.05[江蔵地]死バ(4)  
田より飛び立つ 鈴木静治
- 4.06[発作]ハヤブサ(1)  
川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 4.06[第 2 機場]アライ(1)  
芦原の木に止まりすぐ飛び去る 吉田隆行
- 4.06[岡発戸新田]材カ(1)  
上空を滑空する 鈴木静治・船津登・池田日出夫  
蒲田知子・千葉洋・古出洋子
- 4.10[柏市]ツミ(2)  
鳴きながら林の中を移動 飯泉仁
- 4.10[中峠]ツバ(2)  
田んぼでサシバ 2 羽が採餌 松本勝英
- 4.13[岡発戸新田]材カ(1)  
上空を飛ぶ 鈴木静治
- 4.13[戸張新田]ハヤブサ(1)  
飛んで来て塔の上部に止まる 鈴木静治
- 4.13[手賀新田]ホシヅメ(5)  
田で採食 鈴木静治
- 4.13[手賀新田]ツバ(2)  
田より飛び立つ 鈴木静治
- 4.14[発作]セッカ(2)河原で鳴く 鈴木静治
- 4.15[片山]ツバ(3)  
鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.15[北新田]ホドリ(5)田んぼ  
畠中暁美・桑森亮・松田幸保など計 8 名
- 4.15[北新田]ツバ(6)2 号、4 号排水路  
畠中暁美・桑森亮・松田幸保など計 8 名
- 4.15[北新田]セッカ(3)田んぼ  
畠中暁美・桑森亮・松田幸保など計 8 名
- 4.15[北新田]セッカ越流堤傍  
畠中暁美・桑森亮・松田幸保など計 8 名
- 4.16[柏市]ツミ(2)雌雄が鳴きながら飛来(餌の受け渡し) 飯泉仁
- 4.16[高野山新田]ホドリ(5)  
樹上から飛び去る 桑森亮
- 4.16[高野山新田地先]ヒ(2)  
手賀沼上空を飛翔 桑森亮
- 4.16[曙橋]ホドリ(2)  
耕作田に下りる、飛翔 桑森亮
- 4.16[片山(手賀の丘公園)]ツバ(2)  
飛翔、木に止まる 桑森亮
- 4.17[岡発戸新田]ホドリ(6)  
5 羽樹上に、1 羽ツバの実を食べる 桑森亮
- 4.17[高野山新田地先]クイ(1)  
葦の湿地で動く 桑森亮
- 4.17[高野山]セダ 仏シイ(2)囀り 平岡考
- 4.20[手賀]ツバ(3)  
森の木の上を滑空する 鈴木静治
- 4.20[手賀新田]ホシヅメ(2)  
水の入った田で餌獲り 鈴木静治
- 4.20[千間橋]セッカ(5)葦に止まり囀る、飛びながら囀る 鈴木静治
- 4.20[千間橋]材カ(1)  
河原の葦と田の間を飛びまわる 鈴木静治
- 4.20[発作]セダ 仏シイ(1)  
林の樹の上部で囀る 鈴木静治
- 4.20[高野山]ツバ(1)地鳴き 平岡考
- 4.20[手賀の丘公園]セダ 仏シイ(2)  
手賀の丘公園のさくら山とサシバの里でセンダイムシクイのさえずり 吉田隆行
- 4.21[泉村新田]ホシヅメ(21)  
田圃で採食 船津登
- 4.21[片山(手賀の丘公園)]ツバ(6)  
地上から飛び木に止る 船津登
- 4.22[柏市]ツミ(2)

雌雄が鳴きながら林に帰還	飯泉仁	桑森亮・中根忠
4.22[柏市]アトリ(2)		4.28[中峠]ツバ(2)
鳴きながら林の中を移動	飯泉仁	鳴いて飛ぶ、樹上、採餌
4.22[泉村新田]ノスリ(1)		桑森亮・中根忠
電柱に止まる	船津登	4.28[中峠]ヒレ(1)
4.22[布瀬]アトリ(100)田で採食	船津登	田圃に
4.22[片山新田(手賀沼側)]ヒカ(2)		桑森亮・中根忠
鳴きながら上空を飛ぶ	船津登	4.28[中峠]ツバ(1)
4.23[片山(手賀の丘公園)]ヒカ(1)		田圃に下りる
森の中で囀り	桑森亮	桑森亮・中根忠
4.23[片山(手賀の丘公園)]ツバ(1)		4.28[片山(手賀の丘公園)]ヒカ(3)
枝に止まり見張り?	桑森亮	森の中で囀り、樹間を移動( )
4.23[発作]ヒカ(3)		桑森亮・中根忠
河原を囀りながら飛び回る	鈴木静治	4.28[北新田]ツバ(1)
4.25[千間橋]ツバ(1)		水田で採餌(婚姻色)
川中を泳ぐ	鈴木静治	桑森亮・中根忠
4.25[発作]ツバ(1)		4.28[こんぶくろ池(ふじ池)]アトリ(1)
林の木の頂きに止まる	鈴木静治	木に止まった
4.25[片山(手賀の丘公園)]ツバ(1)		吉田隆行
林の中で鳴く	船津登	4.29[中沼田]ヒカ(1)
4.25[片山(手賀の丘公園)]ツバ(1)		田の上空で2羽のツバにヒカされる
上空を飛ぶ	船津登	鈴木静治
4.25[片山(手賀の丘公園)]ツバ(2)		4.29[布佐]ツバ(1)
4.25[片山(手賀の丘公園)]ツバ(1)		森の木の上部より囀り
木に止まる	船津登	鈴木静治
4.25[片山(手賀の丘公園)]ツバ(3)		4.29[布佐平和台]ツバ(2)
木に止まる	船津登	木に止まり鳴く
4.25[第2機場]ツバ(1)		鈴木静治
桜の木で虫や葉っぱを取っていた	吉田隆行	4.29[第2機場]ツバ(6)
4.26[柏市]ツバ(2)		桜の木で虫や葉っぱを取っていた
雌雄各1羽、交尾	飯泉仁	吉田隆行
4.26[片山(手賀の丘公園)]ツバ(1)		4.30[片山]ツバ(1)
枝に止まり採餌	桑森亮	上空を飛翔
4.26[下沼田]ツバ(1)		飯泉仁・飯泉久美子
田の上空でツバ	鈴木静治	4.30[大津川河畔]ツバ(10)
4.26[千間橋]ツバ(1)		相良直己
川中を泳ぐ	鈴木静治	4.30[手賀]ツバ(1)
4.26[布佐平和台]ツバ(1)		森の木の上部で地鳴き
森の棕の木で鳴く	鈴木静治	鈴木静治
4.26[染井入新田(手賀沼側)]ツバ(1)		4.30[布佐]ツバ(1)
水辺を動く	船津登	森の木の上部で囀り
4.27[片山新田]ツバ(1)		鈴木静治
鳴きながら上空を飛ぶ	船津登	5.01[江蔵地]ツバ(1)
4.28[曙橋]ツバ(2)		上空高く滑空
田圃から鳴いて飛び立つ		鈴木静治
		5.01[五條谷]ツバ(1)
		桜の木でさえずる
		船津登
		5.01[泉村新田]ツバ(1)水田で採食
		船津登
		5.01[片山(手賀の丘公園)]ツバ(1)
		林の中で鳴く
		船津登
		5.01[片山新田(手賀沼側)]ツバ(3)
		木の実を食べる
		船津登
		5.01[片山新田(手賀沼側)]ツバ(2)
		葦に止る
		船津登
		5.02[発作]ツバ(1)

- 水の溜まった田に休む 鈴木静治 船津登
- 5.02[手賀沼]ミサゴ (1)上沼 1 金子雅幸・船津登・桑森亮
- 5.02[手賀沼辺]ヒ (2)上沼 2 金子雅幸・船津登・桑森亮
- 5.03[柏市]ツミ(1)雌が抱卵中 飯泉仁
- 5.03[発作]ツバキ (7) 水の入りかけた田で休む、飛ぶ 鈴木静治
- 5.03[発作]コム外 (4) 林の上を飛ぶ 鈴木静治
- 5.03[布佐]ヒ (2) 森の高木で囀る 鈴木静治
- 5.03[布佐平和台]カガト (2) 調整池の中で大きな声で鳴く 鈴木静治
- 5.03[片山新田(手賀沼側)]コム外 (30) 木の実を食べる 船津登
- 5.04[柏]ツバキ (1) 雄成鳥が換気口に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.04[片山]ツバキ (1) 林縁の枝に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.04[下沼田]ツバキ (1) 田の上でヒリク 鈴木静治
- 5.04[発作]ツバキ (1) 水田の畦近くで休む 鈴木静治
- 5.04[岡発戸新田]ツバキ (2) 池を泳ぐ 鈴木静治・船津登・池田日出夫・千葉洋
- 5.05[中沼田]ツバキ (4) 田で休む 船津登
- 5.06[非公開]ツミ(1) 雄が巣に接近したツバキを追い払う 飯泉仁
- 5.06[布佐]ヒ (2) 森の高木で囀る 鈴木静治
- 5.06[水道橋]ツバキ (4) 飛翔し時折水の入っていない田んぼに降りた 吉田隆行
- 5.07[柏市]ツミ(1) 雄が鳴きながら飛来(餌の受け渡し) 飯泉仁
- 5.07[水道橋]ツバキ (1) 水田で採餌 桑森亮
- 5.08[布佐]ヒ (1) 森の中で囀る 鈴木静治
- 5.08[片山(手賀の丘公園)]ツバキ (2) 5.08[片山(手賀の丘公園)]ツバキ (1) 桜の木に止る 船津登
- 5.09[浅間前]ツバキ (1) 鳴きながら水田上を飛ぶ 鈴木静治
- 5.09[発作]ツバキ (1) コムツバキの群れに混じり泳ぐ 鈴木静治
- 5.09[片山(手賀の丘公園)]ツバキ (1) 鳴き声 船津登
- 5.09[権現橋から宮下橋の間]ツバキ (8) 1~2羽で行動、合計8羽 相良直己
- 5.11[古戸]ツバキ (1) 河原の木の茂みで鳴き、飛び立つ 鈴木静治
- 5.11[江蔵地]ツバキ (2) 水田で餌探し 鈴木静治
- 5.11[大井]ツバキ (1) 斜面林から鳴き声が聞こえた 吉田隆行
- 5.11[北新田]ツバキ (1) 越流堤でカッコウの声を聞きました。姿は確認できず 畠中暁美
- 5.12[水道橋]ヒ (1) 畦の杭に止まる 鈴木静治
- 5.14[柏市]ツミ(1) 雌は巣の中で腰をおろしていた 飯泉仁
- 5.14[手賀新田]ツバキ (1) 田より森に飛ぶ 鈴木静治
- 5.14[布瀬]ヒ (1) 森の中で囀る 鈴木静治
- 5.15[北新田]ツバキ (12) 田んぼ 畠中暁美・松田幸保他 9名
- 5.15[北新田]ツバキ (3) 田んぼから飛び立つ 畠中暁美・松田幸保他 9名
- 5.15[北新田]ツバキ (3) 飛翔 畠中暁美・松田幸保他 9名
- 5.15[北新田]ツバキ (6) 北新田、畠中暁美・松田幸保他 9名
- 5.15[片山(手賀の丘公園)]ツバキ (1) 鳴き声 船津登
- 5.15[片山(手賀の丘公園)]ヒ (1) 小枝でさえずる 船津登
- 5.16[大井新田]ツバキ (5) 鳴きながら上空を飛ぶ 船津登
- 5.17[大井新田先手賀沼]ヒ (1) 上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.17[柏市]ツミ(1)ヒノキの枝に止まり巣の方

向を監視 飯泉仁  
 5.19[片山新田]サシバ (1)  
 電柱に止まる 船津登  
 5.20[手賀新田]ノスリ(1)  
 電柱に止まる 船津登

ホオジロ、ホシハジロ、ホトトギス、マガモ、ミサゴ、ムクドリ、ムナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ 計 102 種  
 <番外種> カワラバト、コジュケイ

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカハラ、アトリ、アマサギ、アリスイ、イカルチドリ、イソシギ、イソヒヨドリ、イワツバメ、ウグイス、ウズラシギ、ウミネコ、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オカヨシガモ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、カケス、カシラダカ、カッコウ、カモメ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キアシシギ、キジ、キジバト、キセキレイ、キビタキ、キョウジョシギ、キンクロハジロ、クイナ、クサシギ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コサギ、コチドリ、コハクチョウ、コブハクチョウ、コムクドリ、サシバ、サンコウチョウ、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズガモ、スズメ、セイタカシギ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、センダイムシクイ、ダイサギ、タシギ、タヒバリ、チュウサギ、チュウシヤクシギ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツバメチドリ、ツミ、トビ、ノスリ、ハイイロチュウヒ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ビンズイ、フクロウ、ベニマシコ、ホオアカ、

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	217
飯泉仁・飯泉久美子	212
飯泉久美子	2
小山雄司	9
金子雅幸・船津登・桑森亮	51
桑森亮	49
桑森亮・中根忠	8
齋藤武馬(山階鳥研)	2
相良直己	15
鈴木静治	282
鈴木静治・船津登・池田日出夫・蒲田知子・千葉洋・古出洋子	23
鈴木静治・船津登・池田日出夫・千葉洋	20
畠中暁美	7
畠中暁美・桑森亮・松田幸保など計 8 名	27
畠中暁美・松田幸保他 5 名	1
畠中暁美・松田幸保他 9 名	26
平岡考	8
船津登	94
松本勝英	12
吉田隆行	32
総計	1097

(弘實和昭)

【会員だより】(ab-yacho より)

【中峠のサシバ、どうやら昨年ペア再来の様子】

2017.04.11 松本勝英

丁度一週間前に今季初認のサシバ 2 羽が、昨日、9 時頃、近くの田んぼで採餌していました。見ていると、同じ個所を向かい合って啄んでいました。差し詰め、ひとつのお弁当を分け合っている恋人同士のようにも見え、微笑ましく感じました。  
 今日、雨の中、その田んぼの井戸ポンプ栓に 1 羽が佇んでいると向かいの林からもう 1 羽が鳴きながら飛翔し、2 羽揃って斜面林へ入り、数十メートル離れた枝先で雨宿り、並

ばないのがにくいですね。 の頭頂部は、 よりも白っぽいですが、 ”薄毛” ではありません。 どうやら昨年のペアの再来と思われます。

**【センダイムシクイの通過@高野山】**

2017.04.19 平岡考

山階鳥研の平岡です。今週、月曜、火曜と、鳥研の周辺でセンダイムシクイのさえずりが聞かれましたので録音してブログに掲載しました。

新緑の中を移動してゆくセンダイムシクイ

[http://yamashina.or.jp/blog/2017/04/eastern\\_crowned\\_lw/](http://yamashina.or.jp/blog/2017/04/eastern_crowned_lw/)

文中にも書きましたが少なくとも2個体はいたようです。

**【Re センダイムシクイの通過@高野山】**

2017.04.20 吉田隆行

本日手賀の丘公園のさくら山とサシバの里でセンダイムシクイのさえずりを聞きました。

**【いよいよ夏鳥シーズン到来】**

2017.04.21 桑森亮

一週間程前から手賀沼遊歩道にコムクドリが来ており、陽気もあってか日曜日はカメラマンで賑わっていました。

某ブログでは手賀の丘にキビタキやセンダイムシクイも入ったようで、いよいよ夏鳥シーズン到来の感じがします。

**【北新田、オオヨシキリ初認】**

2017.04.22 畠中暁美

今日北新田に行ったら 今年初めてのオオヨシキリの声が聞こえました。

一昨日はそこでは聞かれませんでした。今日は9時45分頃元気な声がして急に賑やかになりました。

調べてみると2015年4月27日、2016年4月23日、2017年4月22日

ほぼ同じ頃ですね。カレンダーもないのに どうして分かるのでしょうか？

チュウサギも8羽見られました。皆様方のお宅の方では如何ですか？北新田情報です。

**【我孫子駅周辺にイソヒヨドリ、ツバメの囀り】**

2017.04.24 平岡考

このところ我孫子駅の南口周辺でたびたびイソヒヨドリが囀っているのが聞かれます。研究員の齋藤からも情報をもらいました。

また我孫子駅周辺ではツバメが盛んに囀っています。

山階鳥研周辺で、先日ご紹介したセンダイムシクイのほか、メジロ、ヤマガラ、ウグイス、シメ等を観察しましたのでご報告します。

**【クロジの通過】**

2017.04.30 平岡考

添付したのは、4月23日(土)に自宅近くの松戸市内の緑地で観察したクロジの雄です。

この日この緑地で、鳴き声を聞いた印象ではクロジが3羽ほどはいる感じでした。少なくとも添付の雄以外に、雌型の色彩の個体は目視で観察できました。

クロジの話題は昨年もお知らせしたような記憶がありますが、去年の1日違いの日、2016年4月24日にやはり同じ場所で観察しています。

クロジはごぞんじのように、国内ではおもに本州中部以北の、主に日本海側のブナ林で繁殖し、冬は本州中部以南の低地で越冬します。私の見た鳥たちも春の渡りで越冬地から繁殖地への移動の途中だったのでしょう。

クロジの地鳴きは冬はアオジとそっくりで私は聞き分ける自信がありませんが、春先にはクロジの地鳴きは金属的な音色の、ティッ、ティッという感じになって、アオジのツッという声との聞き分けが簡単になるように思います。

この個体も、普段聞き慣れない地鳴きが聞こえることですぐに気づくことができました。

**【今年も大津川河畔にムナグロ飛来】**

2017.04.30 相良直己

昨日、本日と2日続けて久方ぶりに大津川河畔を散策しました。

毎年ゴールデン・ウィーク頃に、大津川河畔のある地区の田圃にムナグロの群れが飛来します。

北新田や発作地域ほどではありませんが、多い年は30羽前後、毎年20羽程度の小さな群れが、2週間程度、毎日の如く決まって飛来し、その後は見えなくなります。田おこしが終わり、水が入る直前の田圃にムナグロは良く見られ、田植え直後まで見ることができます。今年も時機到来と出かけてみましたが、コチドリは、そこかしこで見られ、2時間の散策で10羽くらい見られましたが、昨日はまだムナグロは見ることができませんでした。本日は、今年の大津川河畔ムナグロ初見です。10羽余りの群れが、いつもの地区の田圃で、忙しく餌を啄んでいました。

**【布佐周辺の野鳥】**

2017.04.30 鈴木静治

最近の布佐周辺の野鳥の状況をお知らせします。

田は水が入りはじめ4/30現在で約1/3ほど田植えがしてありますが、シギチはほとんど見られません。オオヨシキリ、ヒバリ、セッカ、キジの囀りがしてにぎやかです。

チュウサギも時々見られます。4/29浅間橋から、午前中にシギチの数十の群れが上空高く鳴きながら飛ぶ光景を見、夕刻、江蔵地の水の入りかけた田に50羽程度のシギチが降りましたので、近くで見ますと成鳥と幼鳥のムナグロでした。4/30布瀬の水の入った田で4羽のチュウシャクシギを見ることができました。相島、発作ではまだ見られません。

川は冬多かったオオバン、ユリカモメ(4月初～中旬に見られたカモメはいなくなり)、カンムリカイツブリ、カウウは少なくなりました。手賀川では現在コブハクチョウの抱卵中の巣が4ヶ所あり、孵化し子育て中が3ヶ所で幼鳥計15羽になります。

布佐の森ではセンダイムシクイの囀り(4/20、4/29)、キビタキの囀り(4/29、4/30)、公園でビンズイ(4/29)、手賀の森でサンコウチョウの地鳴きらしい声を聞きました(4/30)。

コムドリも発作の森(4/25)で見えています。

現在、冬鳥が去る途中で、渡り途中の旅鳥、夏鳥が田、川、森で色々見られ、囀り・地鳴きが聞こえる時期ですので、住んでおられる周辺で探鳥をすると面白いと思います。

**【キビタキが来ました！】**

2017.05.01 船津登

本日、朝6時ごろ、柏市五條谷の自宅前の公園から美しい鳴き声が聞こえて来ました。

双眼鏡を持って行くと、桜の木にキビタキが止って、さえずっていました。

そのさえずりが、「ピュー、チョットコイ、チョットコイ」とコジュケイの鳴き声のようでした。キビタキのこのようなさえずりを聞くのは初めてで、驚きました。

**【今日の大津川河畔の野鳥観察】**

2017.05.10 相良直己

本日は、夕刻に気晴らしに大津川の権現橋から宮下橋の間を往復してみました。

権現橋付近の田圃で、谷津干潟等で耳慣れたキアシシギの鳴き声。何処かと目をこらすと、畔の上に2羽がお休み中。畔の下の田圃のへりには6羽がー列に並んで歩みながら採餌中。合計8羽のキアシシギです。暫くして印西方面へ群れで飛び立って行きました。コチドリはそこそこで出会います。1羽か2羽で採餌していますが、16:00-17:30の2時間弱の間に8羽に出会いました。

1週間前にムナグロに出会った田圃にも行って見ました。今日もいました10数羽の群れが。手前に3羽います。この3羽を撮影していると、奥の方にいた10羽ほどの群れが飛び立ち、こちらも印西の方角へ飛んでいきました。3羽のムナグロは飛び立つ気配はありません。薄暗くなるまで、十二分に被写体になってくれました。暫く機会が無いので大

津川のムナグロはこれで今年は見納めかも知れません。  
(秋には大津川畔には渡来しません)

**【利根川河原にカッコウの鳴き声】**

2017.05.11 鈴木静治

田は水田となり、チュウシャクシギ、ムナグロ等も見られるようになりましたが、そろそろ利根川の葦原にコヨシキリが来る頃かなと思い、5/11早朝に行ってみました。オオヨシキリ、ヒバリ、ウグイス、セッカの囀りが聞こえ、コヨシキリの囀りは確認できませんでした。

帰りに排水路にいるイソシギを見ていると、利根川川岸の林の中からカッコウの鳴き声が聞こえ、しばらくすると飛ぶ姿がみえました。なお昨年はツツドリの鳴き声を聞きましたが、今年は聞いていません。カッコウの鳴き声を聞くと初夏になった感じがします。

**【ホトトギス】**

2017.05.22 村井みとい

本日、湖北の窓からホトトギスの声を聞き、目が覚めました。私にとっては初認です。夏がすぐそこまで来ています。田圃では稲が青々してきました。

我孫子ではありませんが、コチドリはヒナを連れて砂利の場所から田んぼに移動しました。誰もかれも子育てに一生懸命ですね。

**会からのお知らせ**

**< 訃報 >**

当会会員の西昭子さんが3月8日にご逝去されたとの報を5月26日にご遺族から受けましたので、ここに謹んでお知らせいたします。

故人は俳句に親しんでおられ、今年1月の野鳥サロンに参加され、野鳥に関する俳句の解説をされていました。お元気でしたが突然の訃報に接し、故人を偲びつつ、心からご冥福をお祈りいたします。

**< 新入会員紹介 >**

高波宣子 (我孫子市在住)

植田禮子 (我孫子市在住)

**ほーほーどり No. 257 (2017年7~8月号)**

発行 2017年7月1日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、千葉洋、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel: 04 7182 3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000円 (大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)